赤ちゃんを守るためにできること

RSウイルス感染症を予防しましょう





妊娠中に予防

母子免疫ワクチン



生後に予防

抗体製剤

※詳しくは医師にご相談ください。

RSウイルス感染症ってどんな病気？

RSウイルスは、ほぼすべての子どもが2歳までに一度は感染すると言われています。多くの子どもはかぜのような軽い症状で治りますが、強い咳や息が苦しい・顔色が悪いなどの重い症状が出たり、ひどくなると入院治療になるケースもあります。



「RSウイルス感染症予防」ホームページのご案内

RSウイルス感染症や母子免疫ワクチン・抗体製剤についてより詳しく知りたい場合は、右の二次元コードからホームページをご覧ください。



一般社団法人
日本周産期・新生児医学会
JSPNM Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine

2026年9月作成

本ポスターは、学会として承認されたファイザー助成金プロジェクトの一環として作成しています